

2027年国際園芸博覧会に向けた植栽試験（第2回:2025年審査）

出品要項

2024年6月14日

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会



EXPO
2027
YOKOHAMA JAPAN

植栽試験の概要

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会（以下、「当協会」という。）は、横浜市・旧上瀬谷通信施設で2027年3月19日から9月26日にかけて開催予定の国際園芸博覧会「GREEN×EXPO 2027」（以下、「本博覧会」という。）に向け、植栽試験のための植物材料（草本類・球根等）の出品を公募します。

本試験は、各植物の生育適性や生産情報等を確認することを目的に日本大学と連携して実施され、試験の結果は本博覧会の会場を彩る植栽設計の参考にさせていただきます。

◆ 名称

2027年国際園芸博覧会に向けた植栽試験（第2回：2025年審査）

◆ 主催者

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会
植物部 植物課（担当：西尾、出雲、大谷）

◆ 場所

日本大学生物資源科学部内圃場（神奈川県藤沢市亀井野1866）
※使用圃場は非公開のため、大学へ直接連絡する行為や、大学敷地内への立ち入りはご遠慮ください。

◆ 募集予定数

1回の審査につき通常管理区審査250件程度、省管理区審査50件程度
※1 審査の詳細については4ページをご参照ください。
※2 申込数が予定区画数を上回る場合、もしくは公募対象に当てはまらない場合、募集締切後に申込をお断りする可能性があります。

◆ 公募対象

本博覧会に向けた新品種や注目品種、環境耐性が優れている植物を対象とし、各植物の開花・生育状況を審査します。

植物は以下の4つの部門で公募します。

- (1) 花壇苗（一・二年草）
- (2) 宿根草・グランドカバー
- (3) 球根
- (4) その他（低木の花木、ハーブ、野菜、つる植物等）

※ 誘引や剪定などの作業は行なわない想定での審査となります。

◆ 出品者資格

出品者は、種苗メーカーや国、地方公共団体、育種家、学校等から公募し、以下のいずれかに該当する方を対象とします。

- (1) 当該品種を育成開発した者
- (2) 当該品種の育成者権を有する者
- (3) 前二者のどちらかとの契約により日本における販売代理権を有する者
- (4) その他（当協会が認めた出品者）

※ 当協会より要請があった場合、上記の資格を有することを証明する書類の提出にご協力ください。

◆ 本試験によって期待される効果

本試験によって、以下のような効果が期待されます。

- (1) 本博覧会の植物選定へのアピール
- (2) 出品植物の試験データのフィードバックによる植物材料の商品価値の向上
- (3) 本試験を活用した新品種・有用品種等の認知度拡大

◆ 出品料

無料（花苗等の植物材料および配送料は、出品者負担とします）

◆ 出品物の納品

(1) 納品方法

直接持参 または 宅配

※ 乾燥等に配慮した梱包をお願いします。

(2) 納品期間

各植付日の前週

※ 具体的な日付は、当協会より後日連絡いたします。

(3) 納品場所

当協会が指定する場所

※ 具体的な場所は、当協会より後日連絡いたします。

(4) 納品数量

出品いただく全ての植物に、1つの試験区画が割り当てられます。省管理区画で追加審査を行う植物には、管理頻度の異なる2つの試験区画が割り当てられます。なお省管理区画のみでの審査を希望することも可能です。

1区画の面積は1㎡です。花苗は審査区画数分（1㎡または2㎡）の植付け数に予備2株を含めた株数をご納品ください。球根は1割程度の予備球を含めた球数をご納品ください。

（花苗の例）1区画あたり36株の場合

$$36株 \times 1 \text{ 試験区} + 2 \text{ 株 (予備)} = 38 \text{ 株納品}$$

（球根の例）1区画あたり36球の場合

$$36球 \times 1 \text{ 試験区} + 4 \text{ 球 (予備)} = 40 \text{ 球納品}$$

※ 1 省管理区画で追加審査を行う場合

（花苗の例）1区画あたり36株の場合

$$36株 \times 2 \text{ 試験区} + 2 \text{ 株 (予備)} = 74 \text{ 株納品}$$

（球根の例）1区画あたり36球の場合

$$36球 \times 2 \text{ 試験区} + 8 \text{ 球 (予備)} = 80 \text{ 球納品}$$

※ 2 本博覧会では、植栽密度の目安は一年草（10.5cmポット）で25株～36株/㎡程度を想定しています。

※ 3 納品数量・規格は応募時のものを基本としますが、適切な審査のため調整をお願いする場合があります。

◆ その他の注意事項

- (1) 供試された植物材料は、植栽試験終了後、当協会にて適切に処分します。
- (2) 試験区画の設定は変更となる可能性があります。設定変更の場合は出品者へ連絡いたします。
- (3) 広報目的のため、出品された植物の写真や試験結果を使用することがあります。なお、品種名を明記してのメディア露出に関しては、出品者に事前にご相談させていただきます。

植栽管理について

◆ 日常管理

出品いただく植物は、本博覧会開催にあたり現在想定する管理頻度のもと日常管理しますが、特に省管理性に優れた品種については、出品者のご希望をもとに、管理頻度の異なる2つの管理区画（A試験区・B試験区）が割り当てられます。それぞれの管理頻度は以下の通りです。

本試験の管理基準は、本博覧会開催時の植物維持管理を検討するために設定しています。

なお、植物の植付および日常管理は、連携先大学が実施します。

日常管理項目		A試験区（通常管理区画）	B試験区（省管理区画）
灌水	3月下旬～6月中旬頃	3日に1回程度	7日に1回程度
	6月中旬頃～9月下旬	2日に1回程度	5日に1回程度
除草・花がら摘み		2週間に1回程度	2～4週間に1回程度
追肥・病虫害防除		なし	なし

- ※1 上記以外の個別の管理は原則行いません。
- ※2 管理条件は今後変更となる可能性があります。
- ※3 区画割は当協会で決定します。
- ※4 点滴チューブによる灌水を想定しています。
- ※5 冬季の灌水は行いません。
- ※6 元肥は緩効性肥料（窒素分として12g/m²程度）を想定しています。

◆ 植物の生育状況の把握

連携先の日本大学において、植物の開花や生育状況、変化などの記録を以下の頻度で行います。

- (1) 巡視点検：週2回程度
- (2) 記録写真：隔週1回（ひと月に2回程度）
- (3) 夜間開花記録：審査日の前週に1回



審査について

◆ 審査方式

申込書に記載していただく基礎情報の確認による「事前審査①」、生育記録資料の確認による「事前審査②」、圃場において審査員による評価を行う「現地審査」の3段階審査を行い、総合的に評価します。



※各出品物の評価結果については、審査後、メールにて個別にご報告いたします。

◆ 審査の視点

応募される出品物（植物）の審査に対しては、園芸博のコンテンツとなりうる植物や話題性のある植物を発掘し、園芸博を通じて園芸産業の発展・PRにつなげることを目的とします。

審査に関しては、観賞性、生育性、話題性、供給性、省管理性の視点で評価を行います。

観賞性	草姿、草丈、株張り、開花時期、開花期間、花・葉の観賞性、芳香性 など
生育性	耐病害虫性、耐寒性（耐霜性）、耐暑性、耐乾性、耐湿性 など
話題性	新奇性、夜間開花性 など
供給性	供給量、流通性、価格性 など
省管理性	灌水頻度、セルフクリーニング性、植栽密度 など

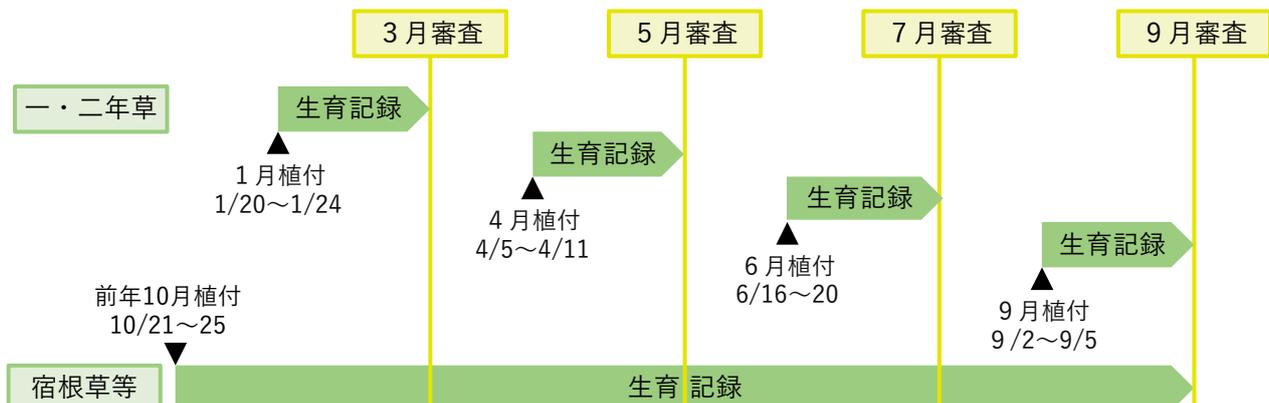
◆ 現地審査

審査員による現地審査は、以下の通り計4回実施します。

- (1) 3月審査：本博覧会開幕時の植物を対象とした審査
- (2) 5月審査：春植物を対象とした審査
- (3) 7月審査：夏植物を対象とした審査
- (4) 9月審査：本博覧会閉幕時の植物を対象とした審査

※1 連続する期間であれば、複数の審査に続けて参加することも可能です。

※2 宿根草・つる植物の場合、原則として第1回審査～第4回審査を通した通期の審査となります。



スケジュール

◆ 募集期間

- (1) 募集開始：2024年7月1日（月）
- (2) 募集〆切：2024年8月9日（金）
- (3) 追加募集：2024年8月中旬以降

※1 申込数が予定区画数を上回るとき、もしくは公募対象に当てはまらない場合、募集締切後に申込をお断りする可能性があります。

※2 申込数が予定区画数を上回る場合は、追加募集は行いません。

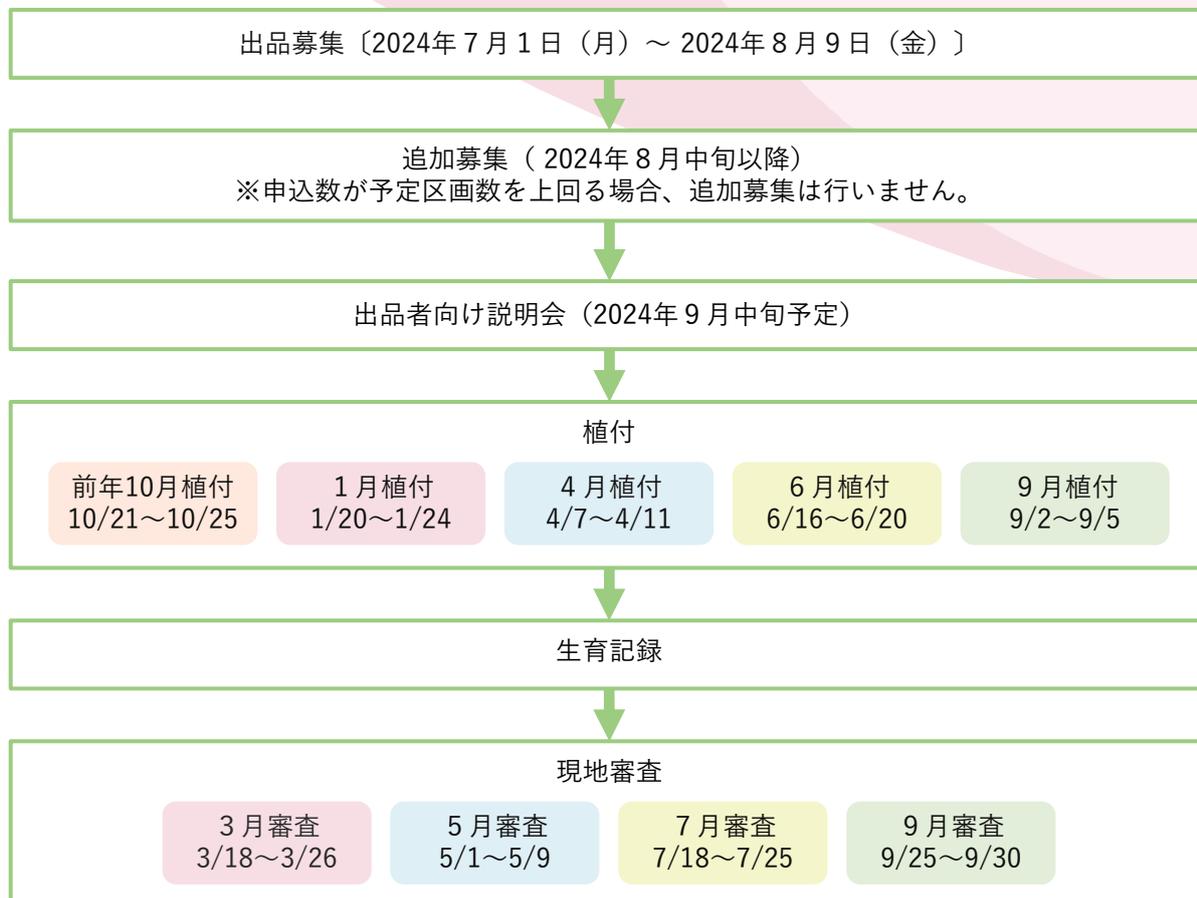
◆ 植付予定日（全5回）

- (1) 前年10月植付：2024年10月21日～25日
- (2) 1月植付：2025年1月20日～24日
- (3) 4月植付：2025年4月7日～11日
- (4) 6月植付：2025年6月16日～20日
- (5) 9月植付：2025年9月2日～5日

※ 各植付日の前週に植物を納品いただきます。

◆ 現地審査予定日（全4回） 予備日設定期間（当該期間のうち1日を想定）

- (1) 3月審査：2025年3月18日 予備日設定期間：2025年3月18日～26日
- (2) 5月審査：2025年5月1日 予備日設定期間：2025年5月2日～9日
- (3) 7月審査：2025年7月18日 予備日設定期間：2025年7月22日～25日
- (4) 9月審査：2025年9月26日 予備日設定期間：2025年9月25日～30日



申込方法

◆ 申込方法

公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会ホームページより申込書をダウンロードいただき、必ず本要項をお読みいただいた上で、申込書を以下の宛先までお送りください。

【宛先】公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会 植物部 植物課 植栽試験担当

【メールアドレス】syokusaishiken@expo2027yokohama.or.jp

※ メール の 件名 は、【申込：2027年国際園芸博覧会に向けた植栽試験（第2回）】としてください。

◆ お問い合わせ

植栽試験に関するご質問がございましたら、Microsoft Formsの下記フォームにURLかQRコードにアクセスいただき、必要事項をご記入のうえ送信願います。

【URL】<https://forms.office.com/r/26yEKciYa5>

【QRコード】



（参考）本植栽試験の全体像

植栽試験は、全3回行うことを想定しています。

2023年度から2024年度にかけて行われた植栽試験（第1回）と本植栽試験（第2回）は、本博覧会予定地外で行う「会場外試験」となっており、2026年度に予定する植栽試験（第3回）は、実際に博覧会予定地である旧上瀬谷通信施設で行う現地試験を計画しています。

第1回 植栽試験

【会場外試験】

募集期間

2023年7月～

試験期間

2024年3月～2024年9月

募
集
終
了

第2回 植栽試験

【会場外試験】

募集期間

2024年7月1日～8月9日

試験期間

2025年3月～2025年9月

第3回 植栽試験

【現地試験】1年前プレ植栽

会場への納品を受託している

生産者と実施

試験期間

2026年3月～2026年9月